

北朝鮮のミサイル発射に強く抗議

事務局長談話 2017年2月13日

核兵器廃絶・平和建設国民会議
(略称:KAKKIN)

北朝鮮は、2月12日午前7時55分ごろ北部の平安北道(ピョンアンブクト)から日本海に向けて弾道ミサイル1発を発射した。

北朝鮮は、これまでの国連決議や関係・周辺国による自制要請を全く無視し、昨年だけでも、1月6日に4回目、9月9日に5回目の核実験を行うとともに、2月7日をはじめとして数度にわたり弾道ミサイルを発射してきた。

これに対し国連安全保障理事会は、昨年11月30日に決議第2321号を全会一致で採択した。この決議は、3月の決議第2270号を強化して、北朝鮮への人・物資・資金の流れなどをさらに規制する内容となっていた。

このような状況の中、北朝鮮が再度、弾道ミサイルの発射を繰り返したことは、国際社会の声を無視したものであり、断じて容認できない暴挙である。

KAKKINは、この北朝鮮の弾道ミサイル発射に強く抗議する。そして、弾道ミサイル発射と核実験を直ちに中止し核兵器開発を断念することを強く求める。

その実現のために、国連安全保障理事会が毅然としてさらなる制裁強化を含む決議を行い、全ての国がその決議を完全履行することが求められている。

KAKKINは1961年の結成以来「いかなる国のいかなる理由による核兵器も許さない」ことを旗印として運動を推進してきた。そして、広島・長崎での平和行動をはじめ、NPT(核兵器不拡散条約)再検討会議開催時には現地に赴き、核兵器廃絶の必要性を強く訴えてきた。KAKKINは、北東アジア地域の非核化の実現、さらには「核兵器なき世界」の実現を目指し、全力で取り組みを進めていく。

以上